

1. 件名：原子力エネルギー協議会等との面談

2. 日時：令和4年6月20日（月）16：00～17：10

3. 場所：原子力規制庁8階南会議室

4. 出席者：

原子力規制庁	原子力規制部原子力規制企画課	村上課長補佐、齋藤課長補佐
	実用炉審査部門	澤田管理官補佐、皆川主任安全審査官
	技術基盤グループ	技術基盤課
		照井課長補佐

原子力エネルギー協議会（A T E N A）	事務局長、他2名
------------------------	----------

中部電力株式会社

原子力本部	原子力部	運営グループ長、他2名
-------	------	-------------

東京電力ホールディングス株式会社

原子力運営管理部	燃料管理グループ	マネージャー
----------	----------	--------

株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン

炉心設計部	シニアエンジニア
-------	----------

5. 要旨：

○A T E N A等から、5月30日の面談を踏まえ、BWR10×10燃料の導入について

- ・新たな解析コード（TRAC系コード）導入の必要性。
- ・TRAC系コード導入に伴う統計的安全評価手法（BEPU）導入の必要性。
- ・安全評価においてTRAC系コードの導入を考えている範囲。
- ・TRAC系コードを用いる安全評価において、BEPUを適用しようとする場合の要件やBEPUを適用しようとする事象。
- ・事業者として考えているBWR10×10燃料導入に向けたスケジュール感等について説明があった。

○原子力規制庁から、今後の進め方について検討する旨を伝えた。

6. 配付資料：

10×10燃料の導入に当たって新たに適用するTRAC系コード及び統計的安全評価手法（BEPU）に係る補足説明

以上